

## 平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 石巻市立鮎川小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校  
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育  
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ( )

所在地 〒986-2523 宮城県石巻市鮎川浜清崎山 1-1

E-mail elsayukcl@ishinomaki.lg.jp

Website http://www.mediaship.ne.jp/~elsayuk/index/index.htm

児童生徒数 男子 15 名 女子 11 名 合計 26 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☐ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☒ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 「国際理解教育」12月1日実施

本年度、本校職員がJICAを通しパラグアイの国を視察することができた。そのときに学んだ「世界で活躍する日本人達」や「青年海外協力隊の仕事」そして、「パラグアイの文化と教育」について5・6年生に伝える授業を行った。

何のために活動しているのかを伝えられる中で、自分たちも東日本大震災で被災し様々な物資をもらった経験がある子どもたちは、本校職員が話した「魚をあげるのではなく、魚を釣る技術を教える」という言葉に感銘を受けていた。一時的な支援ではなく、その後も続いて命を守っていく大切な仕事であることを学ぶとともに、「自分たちの生活がいかに豊かなのか、物を大切にしていな

#### 「防災教育」通年実施

みやぎ防災教育推進協力校として宮城県より研究の指定を受けて取り組んでいる。これまでの本校の防災教育のあり方を見直し、「防災教育副読本」を活用した教育の方向性を模索する年となった。

平成23年度よりの取組テーマ、「体にしみ込んだ訓練」を防災教育副読本からの知識と密接に繋がった体験活動の設定を通して実践している。防災教育副読本の知識を教える防災の時間は、業前活動の時間ではあるが毎月11日前後の日に設定して学んでいる。

「自分の命を自分で守る」ことができる子どもたちを育てるために、学校での学習だけではなく、「家から逃げる訓練」や「地域で遊んでいるときの避難訓練」も実施してきた。

学校が中心となって学校防災教育連絡会（地域防災連絡会）を立ち上げ、子どもを守るのは地域の方々であることを提案し続けている。子どもを守ることができれば、その保護者や祖父母、関連する人たち全員の命を危険にさらすことが無くなると考え、学校以外での子どもの命の守り方を地域とともに模索している。

#### 「伝統文化」通年実施

平成23年度の6年生が立ち上げた「牡鹿復興太鼓」を5・6年生が引き継ぎ、地域を元気にするためにと、地元でのイベントで演奏したり、仮設住宅や老人ホームを回って演奏したりしている。

7月5日には、石巻市青年会議所の招待により石巻市の住吉神社にて青年会議所宮城県大会のオープニング演奏を行ったり、熊本県秀岳館高等学校のふれ愛まつりで演奏を行ったりと、地元鮎川だけでなく様々な地域で演奏を行うことができた。元気にするためとご支援への感謝の意味を込めて演奏を続けている。

また、本校では「七福神舞」も地域の方々から教えられ、1年生～4年生の子どもたちが学んでいる。踊りだけではなく口上や太鼓も教えられ、自分たちで全てをまかなえるまでになってきている。

鮎川の伝統文化を味わわせ、1人でも伝統文化の継承に将来携わる子どもができればと考えている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☐ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☒ その他（ 毎月 11 日前後の業前活動 10 分を防災の時間として実施 ）